仙台育英学園報 第 21 号【令和 4 年度版 学園開示情報】

仙台育英学園報

仙台育英学園報　第 21 号 WEB 版
発行 / 令和 4 年 7 月 29 日
学校法人 仙台育英学園
〒 983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野 2 丁目 4-1
Tel. 022-256-4141
URL　https://www.sendaiikuei.ed.jp

WEB 版

アイ・チャレンジ 125
（2022 年版）
成長バージョン初編

学校法人 仙台育英学園 理事長
加藤　雄彦

デイゴの花の開花が待たれる３月２４日（木）午後２時、仙台育英学園高等学校広域通信制課程 ILC 沖縄の新校舎「栄光」の開校式を挙行しました。これまでは近接する「コザ・ミュージックタウン」内のテナント２００㎡を借用して対面授業を行ってきました。

しかしながら、在籍者の増加や個別に配慮を要する生徒への対応が求められていたため、胡屋十字路を横断した「楠通り」と「諸見小学校」に挟まれた文教地区内に用地を取得し、４階建ての校舎を整備することができました。同校舎の敷地面積 1,174.51㎡、延床面積 1,493.07㎡と全日制課程高等学校の設置基準を上回る建物面積であり、その設備には最先端のゲーミング PC などがあり、通信制課程のみならず全日制課程であったとしても理想的な校舎だと考えています。この「栄光」を竣工させるまでの８年間の歩みを一言で語りつくすことはできませんが、関係職員の粘り強い努力と決して諦めない「逆転の仙台育英」の精神、そして何よりも沖縄県のみなさまの温かいご支援が結実した賜物と捉えています。

とくに、沖縄振興開発金融公庫様は県外の高等学校法人である仙台育英学園の沖縄県における私学教育の意義をご理解下さり、総工費 668,800,000 円の約９割に当たるご融資を認めていただきましたことを心より感謝申し上げます。（土地収用費は別途）

さらに、沖縄本土復帰５０周年となった本年５月１５日を前に同事業を完成することができたことは創立 117 周年となる仙台育英学園の歴史に刻まれることと思います。

現在、仙台育英学園高等学校広域通信制課程の収容定員は ILC ３校合計で７００名となっています。しかしながら、すでに定員を上回る７３５名が在籍していますので、収容定員９００名に定員増で

アイ・チャレンジ 125

▲新校舎「栄光」

きるよう宮城県総務部私学公益法人課に学則変更に関する申請を開始しました。本件は宮城県私学審議会での２年審査を経て、宮城県知事から認可いただけるように準備を進めて参ります。

入学希望者増加の要因は主に２つあると考えています。一つは、ILC ３校（宮城・青森・沖縄）の教職員が学習困難な者、集団学習に馴染めない者、様々な事情を持ち全日制課程で学ぶことが困難な者に対して親身になって対面式授業を行ったことが在校生・卒業生に認められ、学びの面白さを実感できた喜びを在校生・卒業生が成長体験として口伝していることです。もう一つは、多彩でユニークな学校行事を通じて友人関係の大切さや他人への思いやりの心を育む教育環境を整えてきたことです。

学園経営を担う者として、追記するとするならば、ILC ３校にそれぞれ独自の校舎を整備し、常日頃から教育環境の充実に努めてきたこともあるかと思います。

新年度を迎え、本学園は仮称「仙台育英学園沖縄高等学校」の設置構想に基づき、沖縄県総務部総務私学課のご指導を受けながら開校に向けて準備を進めています。設置申請にあたって、課題であった運動場（高等学校設置基準 8,400㎡以上）の土地収用が７月１４日付で済み、約 9,300㎡の運動場用地の開発行為をうるま市に申請する段階になってきました。同市の認可が下りますと、来年秋には仮称「仙台育英学園勝連運動場」が完成し、全日制課程の新入生が保健体育科の実技を行うために利用するようになります。同運動場には２面の天然芝のフットサル場と１面の全天候型のテニスコートおよび２面のスリーバイスリーのバスケットボールコート、さらに運動場を周回できる走路が整備されます。

開学して９年目を迎えた仙台育英学園高等学校広域通信制課程

アイ・チャレンジ 125

ILC 沖縄および設置申請が認められれば開校となる全日制課程の仮称「仙台育英学園沖縄高等学校」が「栄光」校舎で併設されることとなります。

これら 2 校による高等学校体制は学習者のニーズに柔軟に取り組み、個人として精神的にも経済的にも自立した人間を輩出することが期待されます。そして沖縄県の IT 産業の中核となって活躍できる人材の育成を通じて、沖縄本島中部地区が抱える教育的、経済的課題の解決の糸口となってくれるものと考えています。

何かの機会に胡屋十字路にそびえる「栄光」校舎をお訪ね頂き、最新鋭の ICT ツールをご堪能くださることを願っております。

今後、沖縄県のご指導を得ながら、新設校の設置申請を円滑に進めて参りますが、関係のみなさまの変わらぬご支援をお願い申し上げます。

▲ ICT 室

▲図書室

学校法人 仙台育英学園の現状

1 令和 4 年度 在籍生徒数

（2022.5.1 現在）

（1）仙台育英学園高等学校

全　日　制	1　学　年	2　学　年	3　学　年	合　計
特別進学	272	275	283	830
外国語	58	74	101	233
英進進学	224	262	271	757
情報科学	134	120	116	370
フレックス	172	179	209	560
技能開発	171	164	151	486
秀光コース	15	13	12	40
合　計	1,046	1,087	1,143	3,276

通　信　制	令和 4 年度生	令和 3 年度生	令和 2 年度生	令和元年度以前生	合 計
宮城・青森・沖縄	217	226	151	125	719

＊令和 4 年度は前期生のみ

（2）秀光中学校

1 学 年	2 学 年	3 学 年	合　計
50	25	25	100

2 令和 3 年度 決算状況

昨年度に引き続き新型コロナウィルス感染症が市中で猛威を振るう中、令和３年度決算も無事終了いたしました。収支概要は下記の表のとおりです。

令和３年度は、東日本大震災復興事業として宮城野校舎西側のバスプール整備工事の実施、多賀城校舎レオホール食堂厨房機器入替他内装改修工事、真勝園グラウンドの防球ネット嵩上げ工事のほか、ILC 沖縄校新校舎建築工事が完了し、新校舎「栄光」を落成いたしました。

また、新型コロナウィルス感染防止対策に伴うオンライン授業の実施や分散登校を適宜行い、感染状況に応じた対策を最優先に取り組むとともに各種行事のハイブリッド化を推進するなど、コロナ禍での教育活動に工夫・改善を図りながら柔軟に対応してまいりました。

今年度は「I-Challenge125」の再定義に伴い、創立 125 周年となる 2030 年までの達成を目標として掲げる SDGs に対し、ESD の視点も取り入れながら「東和蛍雪校舎」及び「東和交學館」を供用するための整備更新工事、並びに多賀城校舎中区グラウンド他整備工事を予定しており、更なる教育環境の整備充実を推進し、財政基盤の強化に努めながら職員一丸となって学園運営を進めてまいりますので、皆様方には、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 令和 3 年度事業活動収支状況

【単位：千円】

		科　目	決　算　額	摘　要
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	2,506,276	
		手数料	45,212	
		寄付金	69,141	
		経常費補助金	940,475	
		国庫補助金	11,286	
		地方公共団体補助金	929,189	
		付随事業収入	130,255	
		雑収入	329,326	
		教育活動収入 計	4,020,685	
		科　目	決　算　額	摘　要
	支出の部	人件費	2,028,173	
		教育研究経費	2,011,942	減価償却額 590,640 含む
		管理経費	295,164	減価償却額 12,322 含む
		徴収不能額	213	
		教育活動支出 計	4,335,492	
	教育活動収支差額		△ 314,807	
教育活動外収支差額			△ 63,963	
特別収支差額			3,712	
基本金組入前当年度収支差額			△ 375,058	
基本金組入額			△ 540,287	
当年度収支差額			△ 915,345	

学校法人 仙台育英学園の現状

■ 令和 3 年度 貸借対照表

【単位：千円】

資　産　の　部	
科　目	金　額
固定資産	21,023,333
流動資産	590,515
資産の部 合計	**21,613,848**
負　債　の　部	
科　目	金　額
固定負債	5,761,855
流動負債	1,337,227
負債の部 合計	**7,099,082**
純　資　産　の　部	
科　目	金　額
基本金	28,297,822
繰越収支差額	△ 13,783,056
純資産の部 計	14,514,766
負債及び 純資産の部 合計	**21,613,848**

特別進学コースでのスクール TOMAS（個別指導塾）導入について

1 スクール TOMAS とは

株式会社スクール TOMAS は、東京に本社がある「リソー教育グループ」の企業です。首都圏に展開している個別指導塾「TOMAS」のノウハウを生かし、学校内で個別指導を展開しています。なお、「TOMAS」とは東京マンツーマンスクールの略称であり、現在全国の１００校近い学校で導入されています。

2 導入までの流れについて

首都圏、関西圏では指導実績があり有名な学校内個別指導塾の「スクール TOMAS」ですが、宮城県内では馴染みがないことから、本コースでの本格導入に向け１・２年生の生徒を対象に GW 期間中（４月２９日から５月７日、日曜日を除く８日間）に試行講座を実施して、その取り組み状況から判断することにしました。試行講座の募集につきましては、１・２年生の生徒・保護者に対して「Tokushin AI School（TAS）の設置および、試行実施のご案内」の文書を Classi にて配信しました。試行講座への申込状況は順調で、７５名の生徒が１００講座を申し込みました。また、試行講座実施後に「スクール TOMAS」が行ったアンケートと面談の結果については以下の通りです。

【アンケート結果（抜粋）】

Q　アタマプラスの教材に魅力を感じていますか。
A　96.8% が魅力を感じている
Q　専属スタッフによるコーチング・学習相談は役立つと感じますか。
A　91.1% や役立つと感じている
Q　アタマプラスを今後も続けたいと思いますか。
A　88.6% が継続希望

【面談から（抜粋）】

・具体的な大学名は決まっていないが、ほとんどの生徒が国公立大学への進学を希望している。
・このままの勉強法でよいのか不安に思っている生徒が多い。
・学習に対するモチベーションにかなりの差が見られる。

上記のアンケート結果や面談内容、試行講座への取り組み状況等を検討した結果、スクール TOMAS を本格導入することが本コースの生徒の進路希望達成に向け授業内容の定着と学習習慣の確立の確立に繋がるものと判断しました。なお、本格導入は６月１日からとしました。

3 本格導入した現在の状況

①実施場所・時間

・オークルームの一部（月～金：16:00 ～ 18:50、土：13:00 ～ 15:50）
　※ 1 コマ 50 分で 3 コマ実施
・ミーティングルーム（水・金：16:00 ～ 16:50）
　※この時間帯の希望者が多いため
・ゼミ 3（個別対面指導で使用　月～土）
◇スクール TOMAS　社員・２名、学生チューター・４名（東北大生：３名は卒業生）がオークルーム等でアタマプラスによる個別指導を行う。
◇社員２名は、10:00 ～ 19:00 までオークルーム内のカウンターに常駐し業務する。

②指導内容について

大学入試準備のための「徹底的な基礎固め」「弱点分野の克服」を集中的に行い、志望校合格に向けた指導とサポートを行います。スクール TOMAS の社員がオークルームに毎日常駐することで、放課後の生徒の学習支援や管理、進路相談、学習計画の作成等を行い、教員と連携して生徒をサポートできるのが最大の特徴です。学習支援として授業における理解不十分な箇所や、苦手な分野の土台となる知識の抜け漏れを徹底的に洗い出し、生徒の「わからない」原因を根本までさかのぼって明らかにしながら生徒毎に個別の最適化された学習カリキュラムを作成します。生徒は目標達成に向かって「何」を「どれだけ」「どのように」「どのような順番」で復習すれば良いかが分かるのです。また、学生チューターにオークルームで質問できるのも特徴です。

③使用教材について

AI 教材型個別指導として最新の教材「atama+（アタマプラス）」を利用します。これは、２０２０年度日本 e-Learning 大賞を受賞した AI 教材です。数学、英語、物理、化学、生物のうち、希望する科目を受講することができ、web 環境下であれば２４時間いつでも利用が可能です。生徒は週１回５０分オークルームにて atama+ とスクール TOMAS の社員及びチューターの指導のもと、集中して学習できます。また、自宅学習中に生じた疑問点は直接 atama+ へ質問することで、解決することができます。

AI 教材型個別指導の他に、個別指導も行っており１対１の対面授業により苦手教科を集中的に学習できます。また、オンラインで授業を受けることもできます。

オークルームでの講習風景

ゼミ３教室での１対１の対面授業風景

④メリットについて

放課後に校内で学習を行うため、安全でありオークルームへの生徒の入室時に保護者へ自動でメールが届くので Tokushin AI School への出欠が分かります。また、学校の授業と連動して予習・復習ができるので授業での疑問点や理解が不十分な点を効率的に解決できます。

⑤受講費用（受講者負担）について

・AI 教材型個別指導は月 11,000 円（1 科目・税込）で、週 1 回（月 4 回）50 分の講座参加が必須です。
・カリキュラム型個別指導（オプション）は 1 コマ 50 分 4,400 円（税込）で、週 1 コマ、月 4 コマ以上の参加が必須です。

4 今後について

本コースでスクール TOMAS を導入することで、受講する生徒一人ひとりが志望している大学への合格に向け、教科に対する苦手意識を持たずに疑問点を解決することで学習に取り組むことを期待しています。そして、放課後の学習支援として導入した Tokushin AI School が生徒の進路希望達成に繋がるものと期待しております。

登米市東和町に新しい校舎『東和蛍雪校舎』が誕生

鱒渕を継承し　蛍雪の次代へ

【旧鱒渕小学校（平成２０年３月廃校）を改修しリニューアルした東和蛍雪校舎】

▼新校舎の名称は『仙台育英学園高等学校東和蛍雪（とうわけいせつ）校舎』

場所は宮城県の北東に位置し、登米市東和町にあります。

登米市とは仙台育英学園高等学校が 2000 年の宮城国体の際に、現在の登米学習センターを開設した縁にはじまり、2010 年に文部科学省が立ち上げた「みんなの廃校プロジェクト」を活用した取り組みで、仙台育英学園創立者加藤利吉先生との親和性がある旧鱒渕小学校の譲渡を受け、整備を行ってきました。２０２２年７月２２日に開校式記念式典が挙行されました。

▼改修した新校舎での三つの活用の柱

①創立者加藤利吉先生の少年期の苦学していた「蛍雪時代」等を展示紹介し、「北の国へ」をはじめとした様々な教材を活用しながら建学精神を学び、生徒が自らの志を立てるための研修施設。具体的には新入生のオリエンテーション・国際バカロレアのサマーキャンプ等

②介護福祉士を目指すインドネシアからの留学生が、介護士の仕事に就くために必要な授業や実習に励む施設

③仙台育英学園高等学校の卒業生が残した輝かしい功績のトロフィーや盾や資料の展示

本施設が仙台育英学園高等学校の“新しい学びの場”となるとともに、地域に開かれ信頼される教育施設になるように誠心誠意努めて参ります。

登米市東和町に新しい校舎『東和蛍雪校舎』が誕生

東和蛍雪校舎設置の意味

及川甚三郎翁
（1854 ～ 1929）

親和性
炭百俵の苦労
世界を俯瞰した功績
縁

加藤利吉先生
（1862 ～ 1962）

▼炭で業を成す

鱒渕は明治の時代のカナダ移民のパイオニア及川甚三郎翁生誕の地であり、多くのカナダ移民を輩出しました。明治 39 年（1906 年）水害、凶作に苦しむ村民を救おうと及川甚三郎をリーダーとして、村民８３人がカナダに新天地を求め、太平洋の荒波を乗り切って渡航し信念を達成しました。及川甚三郎翁は、炭で業を成しカナダに渡った偉人です。その開拓者魂は今も生きています。

加藤利吉先生も尋常小学校高等科を卒業し１６歳の時に東京で勉強したいという志を抱き、会津若松の良質な炭百俵を貨車に積んで上京し、炭を売って学資に充て一心に勉強しました。

このようにお二人には炭を原資に学び続け、将来に夢を馳せた親和性や、ご縁があります。

▼鱒渕（登米市）を代表する偉人及川 甚三郎翁と学園創立者加藤利吉先生の共通点

- 後輩や部下を大切にしてみんなが豊かな生活が送れるように心がけた至誠の人
- 英語や外国の事情を分からなくても良いものは吸収しようと努力を重ねた質実剛健の人
- 新しいものに強い関心を持ち抜群の行動力に満ちた自治進取の人
- 貧困家庭で幼少期を過ごし長男でなかったため後継ぎにならなかった人

東和町鱒渕で仙台育英学園の伝統を継承し、地域の方々と共に、このかけがえのない美しい風土を活かしていきます。

登米市東和町に新しい校舎『東和蛍雪校舎』が誕生

魅力満載コンテンツ紹介

▼エントランス空間

利吉先生の絵画がしゃべりだす！

（例）
・わしが利吉だ
・今日は仙台育英学園を知ってくれ
・何か気づいたことがあったら教えてくれ
・わしと及川甚三郎はどこかにているんだな
・ここはみんなのふるさとだよ
・廊下を走るなよ

来訪者に驚きによるインパクトを与え、これから過ごす時間への期待値を醸成します。

▼様々な映像や展示による学び

「談話室」に掛けられている液晶画面に、校歌の世界観を象徴する映像と、その映像に込められた解説がプラスされた映像が流れます。利吉先生の想いがたくさん込められた格調高く勇壮な校歌を、生徒により深く理解してもらえる場となっています。

また、利吉先生の波乱に満ちた生涯と教育一筋の生き方を学ばせる「北の国へ」ダイジェスト版も観られます。

その他、「栄光の間」では、先輩達の汗と涙の結晶である成果物や展示品を観ることにより、本学園の誇り高き伝統を継承する意欲を醸成します。
「蛍雪の間」は及川甚三郎翁と加藤利吉先生が貧しい中、勉学に励んできた蛍雪の時代の様子を体感できます。

また、2 階「希望の間」では仙台育英学園高等学校の部活動、イベント、キャンパスの情報を得ることができるモノリスコンテンツが設置されています。

▼鱒渕農園

「鱒渕農園」は東和蛍雪校舎の目の前にあり、木製の大きな看板が訪れた人の目を引きます。

植えた作物は自然に恵まれた肥沃な土地で元気に育っています。秋には秀光中学校の 1 年生がジャガイモ（メークイン・男爵イモ）、サツマイモ（ベニアズマ）、エダマメ（黒五葉）などの収穫体験に訪れます。

登米市東和町に新しい校舎『東和蛍雪校舎』が誕生

登米市の郷土料理「はっと汁

▼はっとの生地「小麦粉」を練る体験

【調理ボランティアさんに教えてもらいます。】

登米の伝統的な郷土料理「はっと汁」は、約 400 年前から作られています。米所として知られた登米では、作った米のほとんどを、現代で言う税金のように伊達藩への献上品として納めていました。 そのため農民は、米の代用品として小麦粉を練ってゆでたものを食べていました。 この食べ物が農民の間で好んで食べられるようになると、登米の領主は、米づくりが疎かになることを心配し、食べることを「法度」としました。 それ以来、この料理が「はっと」と呼ばれるようになったと言われています。「はっと汁」は、農民の知恵と工夫が詰まったふるさとの味です。

「はっと汁」は、地域や家庭、季節によって具材や味付けが異なります。東和蛍雪校舎では、ゴボウ、ニンジン、シメジ、長ネギ、豚肉、油麩などを使います。鍋にお湯を沸かし、切った具材を入れて、味付けをします。そして、はっとの生地を薄く延ばしながら鍋に入れ、はっとが浮き上がってきたら、醤油、めんつゆ、酒、出汁などで味を整え、最後に油麩とネギを加えて煮込めば「はっと汁」の完成です。

【木製食器に盛り付けされたはっと汁】

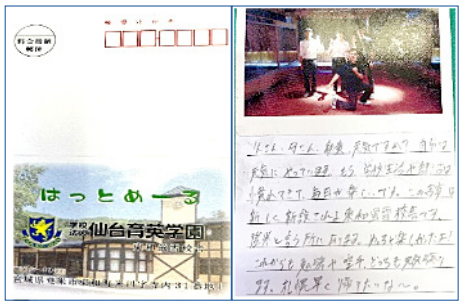
農民の生き抜く力と知恵が生んだ「はっと汁」は、「逆転の仙台育英学園」の精神にも通じます。伝統ある食文化を、東和蛍雪校舎で体験してもらいます。

家族へ感謝と決意を伝える「はっとめーる」

研修の最後にグループのカメラ係が、SurFaceGO でグループの集合写真を撮り、写真シールへ印刷します。

そして、各自がその写真を「はっとめーる」の裏面に貼り、家族への感謝とこれからの学園生活の決意を「はっとめーるはがき」にしたためます。

東和蛍雪校舎での研修を終え、生徒一人一人が笑顔になり、仙台育英学園の生徒であるという誇りを抱き、建学の精神を理解し、生徒自らが志を立てる一助となるような研修にしたいと思います。仙台育英学園理事長加藤雄彦校長先生を始めとする教職員の皆様方、関係各位のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



IB 学習合宿の取り組みについて

秀光コース教頭・IB チーフコーディネーター　石田 真理子

【プレゼンテーションなど、東和蛍雪校舎で行われた活動の様子】

本学園が国際バカロレア（IB）ワールドスクールに認定されてから 7 年半が経ちました。ディプロマプログラム (DP) は、外国語コースと秀光コースの２つのキャンパスにまたがって実施しております。

１期生から毎年 IB 学習合宿に取り組んでおり、その目的は、「IB 学習者像や DP の理念を深める」「グローバルな課題を探究する英語でのプレゼンテーションを通して 5 つの ATL スキルを身につける」「自然の中で自己を鍛え連帯感を高める」「学年、コースを越えた団体行動をとおして他者と協働し団結力を涵養する」ということです。今年も、さまざまな国籍の ELDP 生や学ぶ校舎が異なる両コースの DLDP 生も学年を越えて交流しました。

完成したばかりの東和蛍雪校舎にてプレゼンテーションを行うため、宿泊先をこれまでのいちのせき健康の森から志津川自然の家に移しました。

海を見下ろす宿泊所で、ウォークラリー、釣り、野鳥の森散策、野外炊飯やキャンプファイヤーなどのキャンプならではの活動を行いながら、プレゼンテーションの準備に励みました。生徒たちはみな、教室とはまた違った生き生きとした表情を見せていました。

令和 4 年度
宮城県高等学校総合体育大会 成績
《団体種目》 ※ 1 ～ 3 位まで

■仙台育英学園高等学校

《優勝》

硬式野球	優勝	2 年連続 26 度目
ラグビー	優勝	2 年連続 30 度目
男子テニス	優勝	2 年連続 5 度目
女子テニス	優勝	2 年連続 3 度目
男子柔道	優勝	2 年連続 18 度目
男子剣道	優勝	2 年連続 9 度目
男子陸上競技	総合優勝	2 年連続 12 度目
男子ライフル射撃	優勝	10 大会ぶり 7 度目
女子ライフル射撃	優勝	3 大会ぶり 11 度目

《準優勝》
軟式野球
女子陸上競技
女子剣道
男子空手組手

《3 位》
男子サッカー
女子サッカー
男子卓球
女子柔道
女子空手組手

■秀光中学校

《優勝》
陸上部　女子 1 年生 100 メートル　（県大会出場）
※ 36 年ぶりの大会新記録